

生涯学習推進基本指針進捗状況について

1 生涯学習推進の検証の実施手段

- ①基本指針に掲げた施策の推進に関し、市民の意見を把握する取り組みとして生涯学習市民センター利用者等に対するアンケートを実施することにより、満足度等を把握する。
- ②可能な限り定量的に示すこととし、枚方市における既存の評価制度(事務事業実績測定)を活用する。

2 「生涯学習施策」推進に関するアンケート

生涯学習市民センター、枚方公園青少年センターの利用者と、一部生涯学習事業の参加者を対象に「生涯学習施策」推進に関するアンケートを実施しました。

■令和5年度 アンケート回収結果

- (1)実施期間 令和5年7月1日～令和6年3月31日
- (2)回答数 514件(内 Web回答 17件)

《参考》令和6年度 アンケート回収結果

- (1)実施期間 令和6年6月14日～令和7年3月31日
- (2)回答数 622件(内 Web回答 28件) ※令和7年1月20日時点

■アンケート結果(利用者満足度)

施 策	基本指針 でのNo.	満足度レベル			(参考) 令和 6年度	
		令和 4年度	令和 5年度	増減		
市民の学びを支える	(1)市民が自発的に学習できる機会の提供	1.(1)①	73.9	69.7	-4.2	70.2
	(2)現代的・社会的課題に関する学習機会の充実	1.(1)②	66.3	63.8	-2.5	63.3
	(3)学習機会に対する情報提供の充実	1.(1)③	69.3	64.7	-4.6	64.5
	(4)学びの場(場所)の提供	1.(2)	70.8	67.7	-3.1	68.1
学びの成果の活用を支える	(5)学びの成果を活用できる場の提供	2.(1)	68.3	63.9	-4.4	65.0
	(6)学びの成果を活用できる仕組みづくり	2.(2)	63.6	60.3	-3.3	62.3
つながりを支える	(7)学ぶもの同士のつながりを支える	3.(1)	63.2	60.2	-3.0	62.5
	(8)市民・事業者・大学・地域のつながりを支える	3.(2)	63.1	60.8	-2.3	61.6
	(9)世代間交流を支える	3.(3)	60.3	56.6	-3.7	58.5
平均値		—	66.5	63.2	-3.3	64.1

※基準値(50.0):全ての回答が「普通」の場合に得られる値
 ※参考として、令和6年度のアンケート結果を記載

満足度は、全9施策で基準値*を上回っている状況ですが、昨年度に比べ、全体の平均では3.3ポイント減少となっています。

生涯学習事業は多岐にわたることから、担当部署単独の取り組みの強化を実施するだけでは、施策推進を図ることはできないことから、今後も庁内各部署がそれぞれの分野で生涯学習事業に積極的に取り組み、連携を取っていくことで、更なる生涯学習施策の推進を図ります。

【参考】利用者満足度の点数化の算出方法

全9施策に対する満足度を把握するため、「生涯学習施策」推進に関するアンケートの回答区分（満足、概ね満足、普通、やや不満、不満の5段階）の回答割合に基づき、最低0ポイントから最高100ポイントに点数化しました。

	アンケート結果の件数	各回答区分の点数
満足	a	4点
概ね満足	b	3点
普通	c	2点
やや不満	d	1点
不満	e	0点

〔算出例〕

1. 市民の学びを支える

■市民が自発的に学習できる機会の提供

満足	118件
概ね満足	195件
普通	96件
やや不満	16件
不満	3件

$$\frac{(118 \times 4) + (195 \times 3) + (96 \times 2) + (16 \times 1) + (3 \times 0)}{(118 + 195 + 96 + 16 + 3) \times 4} \times 100 = 73.9$$

※「アンケート結果の件数」に「回答区分ごとの点数」を乗じ、満足度のレベルを以下の計算式で算出

3 生涯学習推進基本指針進捗状況調査表について

事務事業実績測定結果（令和4年度・令和5年度）から、基本指針で掲げる生涯学習施策ごとに、関連する主な事務事業、その概要、実績等について、進捗状況として取りまとめました。

なお、今年度より、具体的な方向性や指標を確認するため、事務事業実績測定調査における「指標」「今後の取り組み方針」を掲載するとともに、今年度のみ、コロナ前の実績を確認するため、「平成30年度の具体的な取り組み（実績）」もあわせて資料に掲載しています。